

埼玉大学における平成31年度入試の変更点

【教養学部】

- 特段の変更はありません。

【経済学部】

- 特段の変更はありません。

【教育学部】

- 前期日程中学校コース社会専修で、個別学力検査に課している「総合問題」を「小論文」に変更します。

【理学部】

- 特段の変更はありません。

【工学部】

- 特段の変更はありません。

変更点は以上ですが、あくまでも予定ですので、詳細については、平成30年7月頃公表する「平成31年度入学者選抜に関する要項」にてご確認願います。

平成31年度 埼玉大学入学者選抜の実施教科・科目等（予告）

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験		個別学力検査等	
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等
教養学部 教養学科	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の7科目の中から2科目選択	
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	（※）「公民」から2科目選択はできない。	
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎（物理、化学、生物、地学）	左の基礎を付した4科目から2科目選択 「基礎を付していない科目」を2科目選択した場合は「基礎を付した科目」を選択したものとみなす。	
		外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択	
	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕				
後期		前期日程と同じ	その他 小論文（理解力、論理的な考察力・構成力、表現力を判定する。）		

（注1）平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。

（注2）「倫理」と『倫理、政治・経済』）、（「政治・経済」と『倫理、政治・経済』）

（注3）「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。

（注4）「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。

（注5）今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。

（注6）本学が指定する科目数を超過受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験		個別学力検査等		
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等	
経済学部 (昼間コース) 経済学科	前期 (国際プログラム枠)	国語	国語	必須	その他	小論文(国内外の社会に関する関心と論理的思考力、表現力を評価する。)
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の4科目の中から1科目選択		
		公民	『倫理、政治・経済』			
		外国語 (注4)	英語(リスニングを含む)			
		[3教科3科目]又は[2教科2科目]				
	前期 (一般入試枠)	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B(近代以降の文章)
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の5科目の中から2科目選択 (※)公民から2科目選択することはできない。	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列、ベクトル)
		公民	現代社会、『倫理、政治・経済』			
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)
		外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
	[5教科7科目]、[5教科8科目]、[6教科7科目]、[6教科8科目]			上記の3教科から2教科選択する。		
	後期	前期日程(一般入試枠)と同じ			その他	小論文(論理的思考力、表現力を評価する。)

- (注1) 経済学部(夜間主コース)は、社会人入試で募集する。(入学定員15人)
(注2) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
(注3) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
(注4) 前期(国際プログラム枠)において、英語力検定試験(TOEFL(ITPを含む)、IELTS、TOEIC(IPを含む)のいずれか)を受験した場合は、出願時にTOEFL、IELTS、TOEICの成績証明書を提出すること。
その成績をセンター試験(英語)の成績に換算して採用する。英語力検定試験とセンター試験(英語)の両方を受験した場合、あるいは英語力検定試験のうち複数の試験を受験した場合は、高得点の方を採用する。
(注5) 今後の状況によっては、変更する可能性がありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注6) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 小学校教育 教員養成課程	文系	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
			地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （※）「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
	[5教科7科目]、[5教科8科目]、[6教科7科目]、[6教科8科目]						
	理系	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列、ベクトル）
			地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （※）「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
外国語			英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
[5教科7科目]、[5教科8科目]、[6教科7科目]、[6教科8科目]						理科	①物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学の4科目から1科目 ②物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目から1科目 計2科目選択 ただし、①のグループから選択する科目の分野と②のグループから選択する科目の分野は異なること。
[5教科7科目]、[5教科8科目]、[6教科7科目]、[6教科8科目]							上記の2教科から1教科選択する。

- (注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。
 (「倫理」と『倫理、政治・経済』)。(「政治・経済」と『倫理、政治・経済』)
 「地理歴史及び公民」並びに「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
- (注2) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
 (注3) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
 (注4) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
 (注5) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。
 (注6) 教育学部は、後期日程の募集はしない。

学部・学科等名				学力検査等の区分・日程		大学入試センター試験		個別学力検査等					
						教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等				
教育学部	小学校教育教員養成課程	実技系	音楽	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査				
					地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目又は『基礎を付していない科目』から2科目』選択						
					公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択						
					理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (※)「公民」から2科目選択はできない。						
					数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須						
					外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択						
				[5教科7科目]、[5教科8科目]、[6教科7科目]、[6教科8科目]									
				中期	国語	国語	必須						
					地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目又は『基礎を付していない科目』から2科目』選択						
					公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択						
					理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (※)「公民」から2科目選択はできない。						
					数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須						
					外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択						
				[5教科7科目]、[5教科8科目]、[6教科7科目]、[6教科8科目]									
				後期	国語	国語	必須						
					地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目又は『基礎を付していない科目』から2科目』選択						
					公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『基礎を付した科目』から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択						
					理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (※)「公民」から2科目選択はできない。						
数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須											
外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択											
[5教科7科目]、[5教科8科目]、[6教科7科目]、[6教科8科目]													

- (注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。
(「倫理」と『倫理、政治・経済』)。(「政治・経済」と『倫理、政治・経済』)
- (注2) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
- (注3) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
- (注4) 今後の状況によっては、変更する可能性がありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
- (注5) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学選抜に関する要項」にて公表します。
- (注6) 教育学部は、後期日程の募集はしない。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 中学校教育 教育教員養成課程	言語文化 (国語)	前期	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B・古典B
		地歴	世界史B、日本史B、地理B		左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできない。		
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』				
数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須				
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学		左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択				
外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語		左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					
	言語文化 (英語)	前期	国語	国語	必須	外国語	英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)
	地歴	世界史B、日本史B、地理B		①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択 ②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択			
	公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』		上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (※)「公民」から2科目選択はできない。			
	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学					
	数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須			
	外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語		左の5科目の中から1科目選択			
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					
	社会	前期	国語	国語	必須	その他	小論文(社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価する。)
	地歴	世界史B、日本史B、地理B		左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできない。			
	公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』					
	数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須			
	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学		左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択			
	外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語		左の5科目の中から1科目選択			
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					

(注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。

(注2) 「倫理」と『倫理、政治・経済』)、(「政治・経済」と『倫理、政治・経済』)

(注3) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。

(注4) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。

(注5) 今後の状況によっては、変更する可能性がありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。

(注6) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

(注7) 教育学部は、後期日程の募集はしない。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験		個別学力検査等	
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等
教育学部 中学校 教育 教員 養成 課程	自然科学 (数学)	国語	国語	必須	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (数列, ベクトル)
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択	
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択	
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択	
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕		
	自然科学 (理科)	国語	国語	必須	理科 ①物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学の4科目から1科目 ②物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎の4科目から1科目 計2科目選択 ただし, ①のグループから選択する科目の分野と②のグループから選択する科目の分野は異なること。
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択	
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択	
外国語		英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕			

(注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において, 同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。

(注2) (「倫理」と『倫理, 政治・経済』), (「政治・経済」と『倫理, 政治・経済』)

(注3) 「基礎を付した科目」とは, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指す。

(注4) 「基礎を付していない科目」とは, 物理, 化学, 生物, 地学を指す。

(注5) 今後の状況によっては, 変更する可能性もありますので, 埼玉大学ホームページをご確認ください。

(注6) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については, 平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

(注7) 教育学部は, 後期日程の募集はしない。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験		個別学力検査等	
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等
教育学部 中学校教育教員養成課程	生活創造 (技術)	国語	国語	必須	その他 面接（技術に関する口頭試問を含む。）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択	
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』		
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択	
		外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択	
			〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕		
	生活創造 (家庭科)	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択	
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』		
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (※)「公民」から2科目選択はできない。	
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
外国語		英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕			

- (注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。
(「倫理」と『倫理、政治・経済』)。(「政治・経済」と『倫理、政治・経済』)
- (注2) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
- (注3) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
- (注4) 今後の状況によっては、変更する可能性がありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
- (注5) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。
- (注6) 教育学部は、後期日程の募集はしない。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験			個別学力検査等	
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部 学乳幼児教育 学校 教育 教員 養成 課程	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 （※）「公民」から2科目選択はできない。		
公民		現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』				
数学		数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
理科		物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択			
外国語		英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕				
特別支援教育 コース	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択 ②左の「地歴及び公民」から2科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （※）「公民」から2科目選択はできない。		
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕				
養護教諭養成課程	前期	国語	国語	必須	その他	面接（保健に関する口頭試問を含む。）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択 ②左の「地歴及び公民」から2科目、 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （※）「公民」から2科目選択はできない。		
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕				

（注1）平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。

（注2）「倫理」と『倫理、政治・経済』）、（「政治・経済」と『倫理、政治・経済』）

（注3）「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。

（注4）「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。

（注5）今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。

（注6）本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

（注7）教育学部は、後期日程の募集はしない。

学部・学科等名		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験			個別学力検査等	
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
理学部	数学科	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数 列、ベクトル）
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政 治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			理科	物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択		
			外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フラン ス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			[5教科7科目]				
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数 列、ベクトル）
					理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学から1科目を 選択する。	
	物理学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題（物理、数学及び英語に関する総合問 題を出題する。前提とする物理及び数学の知識 は、それぞれ高等学校における物理基礎・物理 及び数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B （数列、ベクトル）にわたる。また、英語の読解 力と記述力が要求される。）
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政 治・経済』			
数学			数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
理科			物理 化学、生物、地学	必須 左の3科目の中から1科目選択			
外国語			英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フラン ス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
			[5教科7科目]				
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数 列、ベクトル）
					理科	物理基礎・物理	
基礎化学科		前期	国語	国語	必須	その他	総合問題（化学を中心とした自然科学の内容に ついての知識、理解力、論理的思考力、表現力 等を総合的にみる。）
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政 治・経済』			
	数学		数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
	理科		化学 物理、生物、地学	必須 左の3科目の中から1科目選択			
	外国語		英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フラン ス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
			[5教科7科目]				
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数 列、ベクトル）
					理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学から1科目を 選択する。	

- (注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。
（「世界史A」と「世界史B」）、（「日本史A」と「日本史B」）、（「地理A」と「地理B」）、（「倫理」と「倫理、政治・経済」）、（「政治・経済」と「倫理、政治・経済」）
- (注2) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
- (注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験			個別学力検査等	
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
理学部	分子生物学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(生物学を中心とした自然科学の内容についての知識、理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に判定する。)
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B			
			理科	物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕				
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列、ベクトル)	
					理科	物理基礎・物理と化学基礎・化学と生物基礎・生物から1科目を選択する。	
	生体制御学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(生物学を中心とした自然科学の内容についての理解力、思考力、表現力等を総合的にみる。)
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
数学			数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
理科			物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択			
外国語			英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
〔5教科7科目〕							
後期	前期日程と同じ			理科	化学基礎・化学と生物基礎・生物から1科目を選択する。		

- (注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。
 (「世界史A」と「世界史B」)、(「日本史A」と「日本史B」)、(「地理A」と「地理B」)、(「倫理」と『倫理、政治・経済』)、(「政治・経済」と『倫理、政治・経済』)
- (注2) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
- (注3) 本学が指定する科目数を超過受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験			個別学力検査等				
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等			
工学部 機械工学・システムデザイン学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数 列、ベクトル)			
		地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択					
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政 治・経済』						
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須		
		理科	物理	必須			左の3科目の中から1科目選択	その他	小論文
			化学、生物、地学						
		外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フラン ス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			〔5教科7科目〕		
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数 列、ベクトル)			
		前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理			
	電気電子物理 工学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数 列、ベクトル)		
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択				
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政 治・経済』					
数学			数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須					
理科			物理	必須	左の3科目の中から1科目選択			その他	小論文
			化学、生物、地学						
外国語			英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フラン ス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択	〔5教科7科目〕				
後期		前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数 列、ベクトル)			
		前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理			
情報工学科		前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数 列、ベクトル)		
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択				
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政 治・経済』					
	数学		数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須					
	理科		物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択	その他			小論文	
			外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フラン ス語、中国語、韓国語					左の5科目の中から1科目選択
	〔5教科7科目〕								
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数 列、ベクトル)			
		前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理			

- (注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。
(「世界史A」と「世界史B」)、(「日本史A」と「日本史B」)、(「地理A」と「地理B」)、(「倫理」と「倫理、政治・経済」)、(「政治・経済」と「倫理、政治・
経済」)
- (注2) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
- (注3) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験			個別学力検査等			
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等		
工学部	応用化学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	その他	総合問題(化学に関する知識、理解力、論理的思考力、計算力、および英語読解力等を総合的に評価する。)		
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択				
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』					
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
			理科	化学	必須				
				物理、生物	左の2科目の中から1科目選択				
			外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕							
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列、ベクトル)		
						理科	化学基礎・化学		
		環境社会デザイン学科		前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	その他	小論文
					地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択		
					公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
					数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
理科	物理				必須				
	化学、生物、地学				左の3科目の中から1科目選択				
外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語				左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕									
後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列、ベクトル)				
				理科	物理基礎・物理				

- (注1) 平成31年度大学入試センター試験の「地理歴史及び公民」において、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできない。
(「世界史A」と「世界史B」)、(「日本史A」と「日本史B」)、(「地理A」と「地理B」)、(「倫理」と『倫理、政治・経済』)、(「政治・経済」と『倫理、政治・経済』)
- (注2) 今後の状況によっては、変更する可能性がありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
- (注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科	推薦要件	選考方法	備考
教養学部 教養学科	<p>1 推薦入試の対象となる高等学校および推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、1校につき1名とする。</p> <p>注意事項：国立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。</p> <p>2 推薦対象者 以下の各条件を満たす者とする。 (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 (3) 調査書の全科目の評定平均値が4.0以上の者</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、面接及び小論文による。</p> <p>※「志望の理由」は、教養学部教養学科を志望する理由を自由に記述すること。面接の際の資料とする。</p>	
経済学部 経済学科	<p>1 推薦入試の対象となる高等学校および推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、1校につき2名以内とする。</p> <p>注意事項：国立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。</p> <p>2 推薦対象者 以下の各条件を満たす者とする。 (1) 平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 (2) 調査書中、全体の評定平均値が3.8以上の者 (3) 次の(a) (b)のいずれかを満たす者 (a) 日本の小学校、中学校または高等学校に相当する1年 (school year) 以上の海外での学校教育（日本人学校や私立在外教育施設を含む）を受けた経験を有すること。 (b) 次のいずれかの英語力検定試験で、下記以上のスコアを取得した者。ただし出願時まで2年以内に受験し取得したスコアに限る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC 740 ・ IELTS 6.0 ・ TOEFL PBT 553 ・ TOEFL iBT 82 	<p>1 個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望理由書、大学入試センター試験および英語力検定試験（注1）、小論文試験（注2）の成績による。</p> <p>2 大学入試センター試験の教科科目指定は以下のとおり 国語（近代以降の文章のみ利用する）、『世界史B、日本史B、地理B、倫理、政治・経済』の4科目から1科目（ただし2科目受験のときは第1解答科目に限る）、外国語（注1）〔英語（リスニングを含む）〕</p>	<p>（注1）出願時にTOEIC（IPを含む）、IELTS、TOEFL（ITPを含む）の成績証明書を提出した者（「2 推薦対象者」の(3)(a)に該当する者も含む）は、外国語を受験せずに2教科2科目で受験することができる。なお、英語力検定試験とセンター試験（英語）の両方を受験した場合、あるいは英語力検定試験のうち複数の試験を受験した場合は、本学で定めた換算基準に基づき、高得点の方を採用する。 （注2）小論文試験の得点が4割未満の場合は不合格とする。 小論文においては、文章を読み、著者の考えを要約または説明させる設問と、それを踏まえて自分の考えを述べる設問を出題する。前者においては文章を要約できる理解力、論理的な明晰さ、段落分けなどの文章構成の明確さ、後者においては論理的整合性、与えられた著者の考えとの対比・関連の明快さ、社会科学や社会の出来事に関連する知識の豊かさを中心に評価する。</p>

学部・学科	推薦要件	選考方法	備考
<p>教育学部 学校教育教員養成課程 小学校コース (教育学に関心を持つ者)</p>	<p>1 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。) 推薦できる者の数は、各募集単位とも1校につき2名以内とする。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとする。 注意事項:国立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を満たす者とする。 (1)高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2)平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、学校教育教員養成課程小学校コース(音楽教育に関心を持つ者)、小学校コース(図画工作教育に関心を持つ者)、小学校コース(家庭科教育に関心を持つ者)、中学校コース芸術専修音楽分野、中学校コース芸術専修美術分野及び中学校コース生活創造専修家庭科分野においては、平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。 また、養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由、面接及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。</p> <p>※「志望の理由」は、教育への関心・問題意識及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述すること。</p>	<p>(注1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出ること。</p> <p>(注2) 「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述すること。</p> <p>(注3) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科(『「基礎を付した科目」から2科目』又は『「基礎を付していない科目」から1科目』)、外国語(英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目)</p>
<p>学校教育教員養成課程 小学校コース (国語教育に関心を持つ者) (家庭科教育に関心を持つ者)</p>	<p>学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。 また、養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注2)、小論文、面接及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。</p> <p>※家庭科教育に関心を持つ者の「面接」は、家庭科に関する口頭試問を含む。</p>	<p>(注4) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科(『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない」から2科目』)、外国語(英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目)</p>
<p>学校教育教員養成課程 小学校コース (心理学・教育実践学に関心を持つ者) (英語教育に関心を持つ者) (社会科教育に関心を持つ者) (算数教育に関心を持つ者) (理科教育に関心を持つ者) (ものづくりと情報教育に関心を持つ者)</p>	<p>学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。 また、養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注2)、面接及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。</p> <p>※「面接」は、心理学・教育実践学に関心を持つ者の面接には心理学・教育実践学に関する口頭試問を、英語教育に関心を持つ者の面接には英語に関する口頭試問を、社会科教育に関心を持つ者の面接には社会科に関する口頭試問を、算数教育に関心を持つ者の面接には算数・数学に関する口頭試問を、理科教育に関心を持つ者の面接には理科に関する口頭試問を、ものづくりと情報分野に関心を持つ者の面接にはものづくりと情報に関する口頭試問をそれぞれ含む。</p>	<p>(注5) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。</p> <p>(注6) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。</p>
<p>学校教育教員養成課程 小学校コース (音楽教育に関心を持つ者)</p>	<p>学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。 また、養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接、実技検査及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。</p> <p>【実技検査科目】 1. 唱歌等の、ピアノ伴奏による弾き歌い。曲は「平成31年度 特別入試学生募集要項」で指定する。 2. 「ハノンピアノ教則本」のNo.39より、検査当日指定される、同一調号の長調と短調の音階を暗譜で演奏する。ただし、調号が#3つまで、b3つまでの調とする。 3. 次の中からひとつを選択して演奏する。 声楽、ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス</p>	<p>(注3) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B」、理科(『「基礎を付した科目」から2科目』又は『「基礎を付していない科目」から1科目』)、外国語(英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目)</p>
<p>学校教育教員養成課程 小学校コース (図画工作教育に関心を持つ者)</p>	<p>学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。 また、養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、高等学校卒業後の経歴書(既卒者のみ)、面接、実技検査及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊(※)を持参すること(大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でもよい)。 ※作品ファイル=受験者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p>	<p>(注3) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B」、理科(『「基礎を付した科目」から2科目』又は『「基礎を付していない科目」から1科目』)、外国語(英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目)</p>

学部・学科	推薦要件	選考方法	備考
<p>教育学部 学校教育教員養成課程 小学校コース (体育教育に関心を持つ者)</p>	<p>1 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校(中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。) 推薦できる者の数は、各募集単位とも1校につき2名以内とする。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとする。 注意事項:国立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を満たす者とする。 (1)高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2)平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、学校教育教員養成課程小学校コース(音楽教育に関心を持つ者)、小学校コース(図画工作教育に関心を持つ者)、小学校コース(家庭科教育に関心を持つ者)、中学校コース芸術専修音楽分野、中学校コース芸術専修美術分野及び中学校コース生活創造専修家庭科分野においては、平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、スポーツ活動に関する調査書、面接、実技検査及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。</p> <p>【実技検査科目】 陸上競技、バスケットボール、サッカー、柔道、ダンスの中から1項目選択し、受験すること。 なお、陸上競技の種目は出願時に申告するが、荒天の場合、屋内において申告したものと異なる内容を課すことがある。</p>	<p>(注1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願出すること。 (注2) 「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述すること。 (注3) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科(『「基礎を付した科目」から2科目』又は『「基礎を付していない科目」から1科目』)、外国語(英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目)</p>
<p>学校教育教員養成課程 中学校コース 言語文化専修 国語分野 生活創造専修 家庭科分野</p>	<p>2 推薦対象者 次の各条件を満たす者とする。 (1)高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2)平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、学校教育教員養成課程小学校コース(音楽教育に関心を持つ者)、小学校コース(図画工作教育に関心を持つ者)、小学校コース(家庭科教育に関心を持つ者)、中学校コース芸術専修音楽分野、中学校コース芸術専修美術分野及び中学校コース生活創造専修家庭科分野においては、平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。学校教育教員養成課程小学校コース(体育教育に関心を持つ者)においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者(注1)。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注2)、小論文及び面接による。</p> <p>*家庭科分野の「面接」は、家庭科に関する口頭試問を含む。</p>	<p>(注4) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科(『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない」から2科目』)、外国語(英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目)</p>
<p>学校教育教員養成課程 中学校コース 言語文化専修 英語分野 社会専修</p>	<p>また、養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注2)、面接及び大学入試センター試験(科目については(注3))による。</p> <p>*「面接」は、英語分野の面接には英語に関する口頭試問を、社会専修の面接には社会科に関する口頭試問をそれぞれ含む。</p>	<p>(注5) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。</p>
<p>学校教育教員養成課程 中学校コース 自然科学専修 数学分野 理科分野 生活創造専修 技術分野</p>		<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注2)、面接及び大学入試センター試験(科目については(注4))による。</p> <p>*「面接」は、数学分野の面接には数学に関する口頭試問を、理科分野の面接には理科に関する口頭試問を、技術分野の面接には技術に関する口頭試問をそれぞれ含む。</p>	<p>(注6) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。</p>
<p>学校教育教員養成課程 中学校コース 芸術専修 音楽分野</p>		<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接、実技検査による。</p> <p>【実技検査科目】 1. 唱歌等の、ピアノ伴奏による弾き歌い。曲は「平成31年度 特別入試学生募集要項」で指定する。 2. 「ハノンピアノ教則本」のNo.39より、検査当日指定される、同一調号の長調と短調の音階を暗譜で演奏する。ただし、調号が#3つまで、b3つまでの調とする。 3. 次の中からひとつを選択して演奏する。 声楽、ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス</p>	

学部・学科	推薦要件	選考方法	備考
学校教育教員養成課程 中学校コース 芸術専修 美術分野	<p>1 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、各募集単位とも1校につき2名以内とする。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとする。 注意事項：国立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を満たす者とする。 (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）、小学校コース（図画工作教育に関心を持つ者）、小学校コース（家庭科教育に関心を持つ者）、中学校コース芸術専修音楽分野、中学校コース芸術専修美術分野及び中学校コース生活創造専修家庭科分野においては、平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者（注1）。学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者（注1）。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。 また、養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接、実技検査による。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊（※）を持参すること（大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でもよい）。 ※作品ファイル＝受験者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p>	<p>(注1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願出すること。</p> <p>(注2) 「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述すること。</p> <p>(注3) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科（『「基礎を付した科目」から2科目』又は『「基礎を付していない科目」から1科目』）、外国語（英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目）</p>
教育学部 学校教育教員養成課程 中学校コース 身体文化専修 保健体育分野	<p>1 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、各募集単位とも1校につき2名以内とする。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとする。 注意事項：国立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を満たす者とする。 (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）、小学校コース（図画工作教育に関心を持つ者）、小学校コース（家庭科教育に関心を持つ者）、中学校コース芸術専修音楽分野、中学校コース芸術専修美術分野及び中学校コース生活創造専修家庭科分野においては、平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者（注1）。学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）においては、平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者（注1）。 なお、学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましい。 また、養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましい。</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、スポーツ活動に関する調査書、小論文、面接及び実技検査による。</p> <p>【実技検査科目】 陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、柔道、ダンスの中から1項目選択し、受験すること。 なお、陸上競技の種目は出願時に申告するが、荒天の場合、屋内において申告したものと異なる内容を課すことがある。</p>	<p>(注1) 「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目） 外国語（英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目）</p>
学校教育教員養成課程 乳幼児教育コース		<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、小論文及び面接による。</p>	<p>(注5) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。</p>
学校教育教員養成課程 特別支援教育コース		<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、小論文、面接及び大学入試センター試験（科目については（注3））による。</p>	<p>(注6) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。</p>
養護教諭養成課程		<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注2）、小論文及び面接による。</p> <p>※養護教諭養成課程の「面接」は、保健に関する口頭試問を含む。</p>	

学部・学科	推薦要件	選考方法	備考
理学部 基礎化学科	<p>1 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、1校につき1名とする。</p> <p>注意事項：国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。</p> <p>2 推薦対象者 以下の各条件を満たす者とする。 (1)平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2)高等学校において化学（又は相当する科目）及び物理（又は相当する科目）を既修又は履修見込みの者 ※ただし、「化学基礎」・「物理基礎」は含まない。 (3)化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、面接及び大学入試センター試験〔数I・数A、数II・数B、化学、(物理、生物、地学)から1、英語〕による。英語はリスニングを含む。</p> <p>注：「志望の理由」は、数ある大学の化学系学科の中から、なぜ埼玉大学の基礎化学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループまたは個人の自由研究や課題研究、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。</p>	
工学部 環境社会デザイン学科	<p>1 推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、1校につき2名以内とする。</p> <p>注意事項：国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。</p> <p>2 推薦対象者 以下の各条件を満たす者とする。 (1)平成30年3月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 (2)調査書中、学習成績概評がB以上で、理数系（物理、数学）及び英語の成績が優れている者 (3)物理の実験や課題研究等に興味を持ち、工学部環境社会デザイン学科の学生として適性を有する者</p>	<p>個別学力検査を免除し、学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、小論文、面接及び大学入試センター試験〔3教科4科目〕（数I・数A、数II・数B、外国語（英語）、物理）による。（注1）</p> <p>外国語（英語）の評価は、大学入試センター試験の成績もしくは、実用英語技能検定試験（英検）、TOEIC（IPを含む）、TOEFL（PBT, iBT）の結果をセンター試験の成績に換算し、最も高い得点の成績を合否判定に用いる。（注2）</p> <p>「志望の理由」は、工学部環境社会デザイン学科を志望する理由を自由に書いてください。面接の際の資料とします。</p>	

※ 大学入試センター試験の得点の採用方法等については、平成30年7月頃に「平成31年度 入学者選抜に関する要項」にて公表します。

注1 環境社会デザイン学科の推薦入試では、センター試験 外国語（英語）の受験を必須とします。

注2 実用英語技能検定試験（英検）、TOEIC（IPを含む）、TOEFL（PBT, iBT）の成績は、本学への成績提出日の2年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。

学部・学科	募集要件	選考方法	備考
工学部 情報工学科	<p>出願できる者は、次の各条件を全て満たす者とする。</p> <p>◇高等学校又は中等教育学校の後期課程を、平成31年3月卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者。</p> <p>◇高等学校又は中等教育学校の後期課程における理数系の成績（調査書中、数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、又は数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数Bの内容を含む科目）と理科の評定平均値）の平均が4.3以上であり、かつ数Ⅲの内容を含む科目及び物理の内容を含む科目を出願時に履修している者。</p> <p>◇高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書中、学習成績概評がB以上の者。</p> <p><出願上の留意事項> 本AO入試と推薦入試の両方に出席することはできない。（但し、AO入試に出願し、第1次選考で不合格となった場合には、推薦入試に出願できる。）</p>	<p>試験方法・試験時期（予定）</p> <p>○入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、以下の方法により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願者が20名を超えた場合には、出願時に提出された志望の理由・調査書により第1次選考を実施し20名を選考する。 ・受験者（第1次選考実施の場合は、合格した受験者）に、埼玉大学構内で行われる講義（1時間30分）を3回受講させ、毎回の講義終了時に課題を与え翌週までに課題に対するレポートを提出させる。また、毎回の講義終了後、理解力を知るため、小テスト（20分程度）を行なう。 ・選抜は、出願時に提出された志望の理由・調査書、毎回の講義終了時の小テスト、課題に対し提出されたレポート、及び11月中旬に行なう面接（英語、数学の口頭試問を含む。）により総合して行う。 ・選抜の時期は、講義の受講は10月とし、面接は11月中旬とする。 	<p>AO入試の詳しい内容は、平成30年6月に配布を予定している「学生募集要項」で発表する。</p>

学部・学科	募集要件	選考方法	備考
教養学部	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め2学年以上継続して学校教育を受けている者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成29年（2017年）4月1日から平成31年（2019年）3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（学校教育法施行規則第150条第1号）</p> <p>② 外国において次の資格のいずれかを平成29年（2017年）から平成31年（2019年）に取得した者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格</p> <p>③ 国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設において、高等学校に対応する課程で2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程を、平成29年（2017年）4月1日から平成31年（2019年）3月31日までの間に修了した者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達する者</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、成績証明書〔日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）に在籍したことのある者は成績証明書も提出すること。〕、在籍証明書（在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。）、面接による。</p>	
工学部 機械工学・システムデザイン学科 電気電子物理工学科 情報工学科 応用化学科 環境社会デザイン学科	<p>〔注1〕 上記①の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。 （昭和56年文部省告示第153号第1号） 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同程度の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に平成29年（2017年）又は平成30年（2018年）に合格した者で、18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達するもの 〔注2〕 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、成績証明書〔日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）に在籍したことのある者は成績証明書も提出すること。〕、在籍証明書（在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。）、学力検査及び面接による。</p> <p>※学力検査：数学〔数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（※数Bは「数列」と「ベクトル」を出題範囲とする。）〕</p>	

学部・学科	募集要件	選考方法	備考
教養学部	<p>日本国籍を有する者、又は日本国の永住許可を得ている者で、次の1)から3)の要件をすべて満たす者</p> <p>1) 日本の高等学校在籍中に1年 (School Year)以上の海外留学経験を有し、留学先での成績証明書を提出できること。</p> <p>2) <u>平成30年4月から平成31年3月までに日本の高等学校を卒業又は卒業見込みの者</u></p> <p>3) 何らかの外国語検定試験を平成28年1月～平成30年12月の間に受験し、その有効な公式スコア又は合格を証明する書類を提出できること。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語：TOEFL (IIPを除く)、TOEIC (IPを除く)、IELTS、ケンブリッジ英検、実用技能英語検定 ・ドイツ語：Goethe-Institut のドイツ語検定試験、ドイツ語技能検定試験 ・フランス語：TCF, DELF・DALF, 実用フランス語技能検定試験 ・中国語：HSK, 中国語検定試験 ・韓国語：TOPIK, ハングル検定試験 など 	<p>大学入試センター試験を免除し、提出資料(調査書・外国語検定試験結果・留学先での成績証明書等)の内容、小論文および面接による。</p>	

学部・学科		募集要件	選考方法	備考
経済学部 (夜間主 コース) (社会人 入試)	経済学科	出願資格 次の条件を満たす者とする。 大学入学資格のある者又は大学入学の前までに入学資格を有する こととなる見込みの者で、平成31年4月1日現在で満年齢が23歳 以上の者	大学入試センター試験及び個別学力検査 を免除し、小論文及び面接による。	

学部・学科	募集要件	選考方法	備考
教養学部	<p>1 日本の国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除く) (注1) 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。 (注2) 日本国籍と外国籍の両方を持っている者(二重国籍)は、この選抜に出願できません。</p> <p>2 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。 日本留学試験(日本語、総合科目、数学コース1: 出題言語は、日本語、英語どちらも可) : 平成29年6月～平成30年11月実施分利用可 学力検査(一般前期日程の入学志願者と同じ試験) 面接</p>	
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校コース 教育学専修 心理・教育実践学専修 言語文化専修 国語分野 英語分野 社会専修 自然科学専修 算数分野 理科分野 生活創造専修 家庭科分野 中学校コース 言語文化専修 国語分野 英語分野 社会専修 自然科学専修 数学分野 理科分野 生活創造専修 家庭科分野 乳幼児教育コース 特別支援教育コース	<p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。)に合格した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了し、かつ、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。 日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可 文系・理系どちらを選択しても可 文系: 日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース1又はコース2) 学力検査(一般前期日程の入学志願者と同じ試験※) 面接(英語分野の面接には英語に関する口頭試問を、算数分野及び数学分野の面接には数学に関する口頭試問を、理科分野の面接には理科に関する口頭試問を、家庭科分野の面接には家庭科に関する口頭試問をそれぞれ含む。)</p>	<p>※小学校コース志願者の学力検査受験科目は、以下の通り。 教育学専修、心理・教育実践学専修、言語文化専修 国語分野及び英語分野、生活創造専修 家庭科分野…小学校コース文系の外国語 社会専修…中学校コース 社会専修の総合問題 自然科学専修 算数分野…小学校コース理系の数学 自然科学専修 理科分野…小学校コース理系の理科</p>
学校教育教員養成課程 小学校コース 芸術専修 音楽分野 図画工作分野 中学校コース 芸術専修 音楽分野 美術分野 身体文化専修 保健体育分野	<p>(3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。 日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可 文系・理系どちらを選択しても可 文系: 日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース1又はコース2) 実技検査(一般前期日程の入学志願者と同じ試験) 面接</p>	
学校教育教員養成課程 小学校コース 生活創造専修 ものづくりと情報分野 中学校コース 生活創造専修 技術分野 養護教諭養成課程	<p>(7) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC, ACISI, CIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>3 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者</p> <p>(注)経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たすこと。 ① 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ② 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ③ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。 日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可 文系・理系どちらを選択しても可 文系: 日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース1又はコース2) 面接 ※ものづくりと情報分野及び技術分野の面接は、ものづくりと情報及び技術に関する口頭試問を含む。 ※養護教諭養成課程の面接は、保健に関する口頭試問を含む。</p>	
経済学部 (昼間コース) 経済学科		<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。 日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可 文系・理系どちらを選択しても可 文系: 日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース1又はコース2) 第1次試験 小論文(外国人留学生用試験) 第2次試験 面接(第1次試験合格者のみ)</p>	

学部・学科	募集要件	選考方法	備考
理学部 数学科	<p>1 日本の国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く） （注1）日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。 （注2）日本国籍と外国籍の両方を持っている者（二重国籍）は、この選抜に出願できません。</p> <p>2 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。)に合格した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了し、かつ、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース2) 学力検査(一般後期日程の入学志願者と同一試験) 面接</p>	
物理学科	<p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。)に合格した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了し、かつ、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可日本語、理科(物理と(化学、生物から1)の計2)、数学(コース2) 学力検査(一般後期日程の入学志願者と同一試験) 面接</p>	
基礎化学科	<p>(3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可日本語、理科(化学と(物理、生物から1)の計2)、数学(コース2) 学力検査(一般後期日程の入学志願者と同一試験) 面接</p>	
分子生物学科	<p>(7) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC, ACISI, CIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>3 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者</p> <p>(注)経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たすこと。 ① 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ② 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ③ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース2) 学力検査(一般後期日程の入学志願者と同一試験) 面接</p>	
生体制御学科	<p>(注)経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たすこと。 ① 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ② 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ③ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可日本語、理科(化学と生物の計2)、数学(コース2) 学力検査(一般後期日程の入学志願者と同一試験) 面接</p>	

学部・学科	募集要件	選考方法	備考
工学部	<p>1 日本の国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く） （注1）日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。 （注2）日本国籍と外国籍の両方を持っている者（二重国籍）は、この選抜に出願できません。</p> <p>2 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。）に合格した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了し、かつ、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者 ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成31年(2019年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション3月31日までに18歳に達する者</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。 日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可 日本語、理科(物理と(化学,生物から1)の計2)、数学(コース2) 面接</p>	
工学部	<p>機械工学・システムデザイン学科</p>		
工学部	<p>応用化学科</p> <p>電気電子物理工学科 情報工学科 環境社会デザイン学科</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績による。 日本留学試験:出題言語は、日本語、平成29年6月～平成30年11月実施分利用可 日本語、理科(物理と(化学,生物から1)の計2)、数学(コース2) 面接 学力検査:数学〔数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(数Bは「数列」と「ベクトル」を出題範囲とする。)]</p>	
	<p>3 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者</p> <p>(注)経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たすこと。 ① 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ② 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ③ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>		